
墮落論-La jeunesse de la certaine fille-

こあり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

墮落論 - La jeunesse de la certaine
e fille -

【Nコード】

N6629I

【作者名】

こあり

【あらすじ】

「墮落」をエッセイにしました。
墮落といっても美しいもの。

お嬢口調で美学を語っています。
倦みつかれた私の毒を吐いています。
ブログから抜粋。愚痴多（特に学校）。
気分を悪くありませんよう。

- とある少女の青春 -

少女貴族達へ

私は学校なんて大嫌いよ。

あんな所に行つて何か良い事でも有るのかしら。

私の場合は部活に理解者が居るから良い物ですが。

さもなくば私は、お友達のように学校に行つていませんわ。

周りに不登校が居るつて言つのは本当に嫌な事よ。

R嬢やS嬢のブログを見て、私の学校について思ふ事を書こうと思います。

色々突つ込み所の多い文で御免遊ばせ。

これが私の本当の気持ち。

我が愛する少女貴族達への供物なの。

私は友達つて云うのは正直表面上の付き合いだと思っているの。

お互いの傷の嘗め合いや、褒め合い。自己の謙遜。

本当に下らない関係ね。

私はそういう関係こそが学校の姿だと思うの。

だから、外国人が日本にいる時、日本のマナーに合わせるように、私達少女貴族もその習慣に、右に倣わなくてはいけないの。

自分を押し殺してでも、よ。

学校に行くって云うのはそういう事、なのだわ。

でも、時々自分を曝け出して、誇り高く、高慢に、高貴になるのよ。

そうでなくちゃ、少女貴族では無いと思うわ。

貴女が貴女のままに有れるように、そういう時を、場所を見出すべきだわ。

少女貴族の自分を大切に。少女貴族こそ貴女の鏡なの。

溢れる陋劣なデモクラシーは、貴女の見方で有ったとしても、貴女ではない。

他人なんか、貴女でない人なんてどうでもいいの。

自分こそ全てだから。

だから、下らない連中の話や授業何か聞かずに、自分が大好きな本や歌の事を考えて。

この世界は私のために進む、のだから。

私は別に良いと思うわ、上辺だけの友達なんか居なくても。

他人との関係なんて蜘蛛の糸のように、儚く、脆い物だから。

下らない連中と付き合う事に意味を見出せないのは、虚無を感じるのは当然の事。

ただ、貴女が萎れてしまわないように、硝子細工の心に瑕を付けてしまわないように、

貴女は他人に大切にされるべきなの。

寂しくても、辛くても、強がって生きて行く事が大切よ。

少女は大人に為る為に沢山の瑕と十字架を負って、辛い道を歩まなくっちゃいけないの。

だから、耐えて忍んで苦しんで、瑕で駄目になってしまわないように下らない連中とも付き合わなくちゃ。

大切な物を見失わない程度にね。

少しでも現が、貴女が生ける道が、素敵に、楽しく見えるように。

此の世界で貴女が護られるように。

貴女が現に倦み疲れてしまわないように。

貴女が素敵な未来を信じられるように。

生きていればきっと素敵なことがある。

私はそう思うわ。

だって今までに素敵なことが沢山あったでしょう？

ALIPROJECT様の曲を聴いたとき、私は眠りから覚醒したような、

否、生まれてきたような気持ちになったわ。

だから、此れからも、私を痛みから陶酔へと導いてくれる、

影ではない救いの手がきつとあるわ。

だから、それまで辛ければまた私は眠りにつくでしょう。

それは耐える事。

痛みを知る事。

生きる事とはそういうこと。

でも死ぬ事は私には耐えられないわ。

自殺なんかもつと、よ。

だって、もう目の前にある陶酔を自分で消してしまう事だから。

死ぬ事は無なの。悔やむ事も悲しむ事も叶わないの。

何も無いよりか、辛くても、その先にある陶酔を目指す方が絶対マシだわ。

異端って何なの？

皆と違う事をしたいって子供の証拠なのよね。

（私も含めて、ね。）

所詮目立ちたがりに過ぎないって言うか。。

時々人生は訳も無く憂鬱になるものよね。

最近本当に自分が唯のちいさな子供でそこ等の餓鬼に過ぎないって言うか。。

他人とおんなじことなんかしたくない…なあんで。

そりゃあお姉様が言えば素敵で甘美な言葉だけれど。

所詮普通が一番なのよね。

やっぱり人間は霊長類で群れを成す生き物だから孤独に耐えられな
いって言うか。

自分では強がってみても虚しくなるって言うか。

私だって大切な人を無くして一人で生きろって言われれば死んじや
いそうなくらい辛いし。

大体、目立ちすぎると唯の痛いコに見られちゃうでしょ。

人の目も偶には気にしなくちゃあね。

私の学校のエロナンセンスロリータ。

ロリータのお洋服とか着飾って見るのもいいのかもしれないけれど、

センスが無いロリータと同じにされたくないの。

私にはとても理解できない。如何してそんなに目立ちたがるの？

可愛くもかっこよくも無い唯の自己満足の醜態と同じと思われるのもいやだし。

…正直自分が凄くイヤになる。

異端なんて下らない。

変にかっこつけてるだけなの。。

でも私はそう有りたいの。

矛盾してるわ。

だから自分が解らないの。

侮辱（前書き）

今回は普通に愚痴。

侮辱

今日の音楽の授業でクラスメイトの吹奏楽部の女Mが自慢げに大声で言うの。

A「ねえ、Mちゃん、短調と長調ってどうやって見分けるの？」

M「だあーかあーらあ！短調が暗い曲で長調は明るい曲何だってばあー！」

…あ？バツカじゃないの？

そんなの音符が読めないAに言っただって意味ないでしょ？

というかそれはそんな自慢げに言うことなの？

自慢げなのが恥晒し過ぎるわ。見ててイタイわ。

ひとつのときはト長調かニ短調…とか言う見分け方のひとつも知らないの？

あ、でも言っても解んないか。

…嗚呼、むかつく。厭。うざい。

今日なんて、私や他の女の子に向かって、

M「ねえねえ、乙女の祈りって曲知ってる？ちょー良い曲でえー！」

私「知」

M「ええ？！知らんのお！？まじ今度聞いてみてえー！」

…ですって！

真面目にMは私を見くびってるわねえ。

私がそんなメジャーな曲知らないなんて有り得ないわ。
というかピアノで弾けるわ。

馬鹿にしないで頂戴。

ギターでも少しは弾けるのよ!?

しかもそのMが下ネタ好きの超性格悪い嫌われ者なんだもの。
笑っちゃうわ。

しかもピアノが弾けるだとか、芸術専門の高校に行くだとか言い出すから、本当に笑える。

あとウエストが一年で7センチ細くなったとか言い出すし。

…いや!!あなた7センチ細くなってそれなの?

じゃ愚痴を終わります。すいません。

貪欲少女

私は病んでいます。

そうね、私はが好きな物、まばゆい物が

もう失われたことに気づいたからかしら。

我が命、絶望に満ち足り。

って感じよ。

絶世の美女、汚れなき乙女。

真実の愛、本当の幸せ、素敵な読み物、
潰える事なき友情、無垢なる夢、心からの祈り、
朽ち逝く事なき記憶、褪せてゆく事なき命。

きっと私にはこれらの半分も手に入りやしないわ。

一番最後が私が最も望む物。手には入るなら何でもするわ。

最近とても疲れているの。

はあ…。

心躍るような事はないのかしら。

学校

なんだか最近の学校生活は何も意味していないような気がします。

せいぜい図書館の本を読みあさることくらいかしら？

何もかも面倒で仕方ないわ。

上辺だけの友情が欲しい訳じゃないの、私は。

そんなつまらないモノ棄てちゃえば楽なのにね！

簡単には行かないことよね。

だから、上辺が増えるんだけど。

ところで、私は偽ゴスロリ女が大嫌いなもの。

S・Nって言う奴なんだけど、

あんなの認めない！

お姫様でもなくお嬢様でもない、
気品の欠片も無い、

メイクも淬みたいなメイク、
体系もとてもロリータとか華奢なんてもんじゃない
顔も可愛くもない女！

極めつけは下ネタ大好きときたのよ。

吐き気がする。。。会いたくない。

学校行きたくない。行くけど。

あんなのにロリータ名乗る資格は無いわ！

まあ、友達の友達だしね。

痛々しいお目汚しだとも思えばいいわ。

私は中学に入るまで自分の絵の中やA L I P R O J E C Tだけの
理想のゴスロリ嬢像を育んできたのに、

そいつのせいでぶち壊し！

しかもそいつアリプロファンを名乗るのよ！

嫌い、嫌い！

A L I P R O J E C Tを侮辱されているようで気分がわるい。

中途半端なファン程面倒なものはないわ。

お馬鹿さん

他より秀でている所を見せてはならぬ。

僻みは憎しみを育む。

私を蝕む悪魔。

他人より優れる事はいけない事かしら？

私は何時も思います。

凄く素敵な毒よね。

私を高慢にするわ。

隙が無いのはいけないこと？

能無しの連中から僻まれるのを甘んじる。

あんな馬鹿な奴と居ると私まで馬鹿になるわ。

僻むだけじゃ、何にもならないのに。

クラスの馬鹿女に告ぐ

他人を僻むばかりではなく、努力なさい。

私や他の女の子達は努力して貴女より多くの優れた物を手にしたのだから。

細い体も、賢い頭も、少女らしい貌も、しなやかな動きも。

私達が持つてる物は、僻んでばかりで努力も知らぬ、貴女なんかには手に入らないわ。

本当に、あの女は馬鹿としか言いようが無いわ。

それにしても、もう少し優雅な歩き方や話し方は出来ないのかしら？

私はそのクラスの馬鹿女に相当なストレスを感じています。

テストで良い点取ったり、私だけ検定に受かったり、そいつの好きな男と話すと、僻む。

それが面白くて話してるのかもね。

最近愚痴ってばかりですみません。

偽物のゴスロリ女とか、担任とか、とにかくいろんなものに嫌気が差すの。

学校が無くなれば全て解決するわ…。

認められる事と除かれる事

疲れた。

もう嫌。

私はあなた達の期待に応えるために頑張ったでしょ？

自分が強がりで自分でもいやな性格も、包み隠そうと偽りの自分を
作り上げたわ。

明るく、元気で、冗談も言い、優しく、賢い、非の打ち所のない完
璧な女の子を演じた

つもりだったの。

私の頑張りは認めてもらえなかった。

多分数字とか、目に見えるものしか認めてくれないのね、

一年生の初めのテストで偶々順位が良かった。

親からも、お友達からも凄く誉められたわ。

だから私はそれを誇りに思ってた勉強した。

私には、それしかないと感じた。

それだけなら皆が認めてくれた。

もう知らない。

内面なんて、誰も評価してくれりやしないんだもの。

せいぜい上辺だけの友達が増えるだけ。

あいつらは何時でも私を裏切るでしょう。

他の子にしたように。

まあ私はその子を助けるつもりも無かったけど。

もういい。なんだか吹っ切れた。

此処は私の本当の姿の在処。

こんなどうしようもない人間のささやかな頑張りや喜びや懺悔や怒りを綴って良いのだから。

けして一人のお友達にも気を許せない、こんな私でも自分を曝け出すことの出来る場所。

ああ、最近なんて私の母はパソコンを10分程しただけでも凄く怒るの。

許せないのが、私が大好きなサイト視てたら、そんなサイトばかり視てるから、あんたは何時までも駄目なのよ、なんていうの。

酷いわ。

疲れすぎたのね、きっと気が滅入っているのよ。

休みましょ。

格差

格差は中学生の間にも必ず存在するの。

最近改めて思い知ったわ。

私（国）立中学のお坊ちゃまお嬢様方と私達庶民の違いよ。

私達がこんなにも受験ではららしていると言つのに彼等はもう高校の内容…なんて。

羨ましい。

勿論、努力もそれなりのものでしょうけど、やはり環境は私達のそれより遥かに良いわ。

まずお馬鹿さん達に会わなくて良いのが羨ましい。

私の学校の馬鹿達は毎日一台は近くの電気屋のお客さんの車を蹴ってへこませるの。

かなり理解不能だわ。

気の毒よね。高級車も有ったみたいだし。

あれくらいのへこみは修理代20万はいくわね。

って、私が心配することでもないわね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6629i/>

墮落論-La jeunesse de la certaine fille-

2010年10月17日16時29分発行